

まん延防止等重点措置
適用期間延長(3月21日まで)

感染症の拡大防止に
引き続きご協力
をお願いします。



マスクの着用



人との距離の確保



手洗い・消毒



定期的な換気



施政方針 — 令和4年第1回 西東京市議会定例会 —

次世代への責任ある選択

2月25日に開会した令和4年第1回西東京市議会定例会において、池澤隆史市長が表明した施政方針の概要をお知らせします。全文は、市HP・情報公開コーナー(田無庁舎5階)・図書館でご覧になれます。

▶企画政策課 ☎042-460-9800



市HP

私は、昨年2月18日に西東京市長に就任し、1年が経過いたしました。

市長就任以来、私が心がけていることは、現場に赴き、そこで見て感じたことを大切にしながら、市政運営を進めていくことであります。

今の時代を生きる私たちが、今後の西東京市のために、今、何をやるべきなのか、それを政策判断の基軸に、次世代への責任ある選択を果たしてまいる覚悟でございます。

本年1月の広報西東京では、令和3年度に成人式を迎えようとしている方、また、令和2年度に成人になられた方と対談をさせていただきました。若い皆様は「今この時期に、自分自身に何ができるのか」ということに、真剣に向き合い、一

歩一歩、夢の実現に向けて歩んでおられる、その志に大変感銘を受けるとともに、未来を創り上げていくエネルギーを感じたところであります。

私は、次世代を担う若い皆様とともに、西東京市のまちづくりについて意見を交わすことが大変重要であり、異なる世代の方とも一緒に継続的な場づくりが、必要ではないかと考えています。

今後も、より多くの皆様に、本市が進めるまちづくりへの「希望」や「共感」をいただきながら、西東京市への愛着と誇りを持てる、そのような取組を進めてまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症につきましては、令和2年1月に国内で最初の感染者が確認されてから、すでに2年以上が経過しております。市民の皆様、事業者の皆様には、新型コロナウイルス感染症による影響が長期に及び、不要不急の外出抑制、マスクの着用、営業時間の短縮など、日常生活において不自由な暮らしを余儀なくされている中、市の施策に、ご理解とご協力をいただいていることに、心から感謝を申し上げます。

そして、市民生活や社会活動を維持するため、医療従事者の皆様をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様に対しましては、献身的なご尽力に、改めて、深く感謝と敬意を表します。

本市においては、「人」のいのちと健康を守ること、市内経済の活力をまち全体で支える取組、この2点を対策の中心として対応に当たってまいりました。

まず、「人」のいのちと健康を守る取組として、新型コロナウイルスワクチン接種を着実に実施してきており、3回目の追加接種につきましても昨年12月1日から開始しております。また、新たにワクチン接種の対象となる5歳から11歳までの方につきましては、3月からの開始を予定しており、西東京市医師会のご協力をいただき、安心して接種を受けていただけるよう取り組んでまいります。

年が明け、オミクロン株による感染症の急拡大に伴い、自宅療養者の方々等に

対し、専用の受付ダイヤルを設けさせていただき、東京都からの支援が届くまでの間において、食料等の物資支援のほか、療養中のご相談に全庁あげて対応しております。

次に、市内経済の活力をまち全体で支える取組についてでございます。

令和4年度は、国の交付金も効果的に活用しながら、「新たな生活様式」の定着及び市内経済の活性化に向けた「キャッシュレス決済ポイント還元事業」及び「市内消費喚起事業」について、新たな要素を加えて継続してまいります。

また、65歳以上の高齢者の方々に対しましては、フレイル予防の視点やご高齢の方々の生活を応援する目的で、「高齢者応援カード」をお配りさせていただきます。

同様にコロナ禍の中、学びを止めない対応として、市内公立小中学校全学年でのオンライン授業も実施してまいりましたが、学校の休業や行事の中止などによる子どもたちへの影響を勘案し、教育的な支援として、市内の小中学生に加え、高校生等に図書カードをお渡しいたします。

先行き不透明な状況の中でも、高齢者の方々や小、中、高校生等の方々には、これらの事業を通じて、生き生きと暮らせるきっかけとしていただけるよう取り組んでまいります。

次世代につなげる「西東京市ゼロカーボンシティ」を目指して

私は、地域全体で脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐためにも、ここに、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、オール西東京による「西東京市ゼロカーボンシティ」を宣言させていただきます。

脱炭素社会の実現は、次世代への責任を果たすために、今の時代を生きる私たちが、今やらなければならない「待ったなし」の課題であります。そこで、私たちの生活において、エネルギーを消費することなどで発生する二酸化炭素が約9割を占める温室効果ガスを2013年度比46%削減することを当面の目標としてまいります。

環境施策は、すぐに効果が表れない難しさがあります。いかに、過度な負担に感じることなく、継続して取り組むことができるかが重要となることから、幼少

期からの環境学習に力を注いでまいりたいと考えております。すでに、令和3年度から保育園、幼稚園や小学校において出前講座等を実施し、楽しみながら環境への関心を高めてもらう取組を展開しております。令和4年度も引き続き、この取組を実施するとともに、市民の皆様に環境への関心をより高めていただく工夫を取り入れながら、幅広い世代の方々に向けた事業を展開してまいります。

なお、このたびのゼロカーボンシティ宣言に合わせて、ガイドラインを策定し、今後策定いたします令和6年度を初年度とする次期環境基本計画に当該ガイドラインを包含し、さらに実効性の高い取組を位置付けることで、ゼロカーボンシティの実現を図ってまいります。

本市の財政状況と令和4年度予算の概要

本市の財政状況は、令和2年度決算において、経常収支比率は前年度から1.1ポイント改善となる94.0%となり、5年ぶりに95%台を下回り、また、財政調整基金残高についても、前年度から3億4,000万円の回復となる33億7,000万円となりましたが、いずれの指標も、第4次行財政改革大綱で示した目標値には至っていない状況であります。

このような厳しい財政状況ではありますが、令和4年度の予算編成にあたりましては、新型コロナウイルス感染症への対応として、「人」のいのちと健康を守り、市内経済の活力をまち全体で支えることを最優先課題とするとともに、本市の目指すまちづくりを進めていくためには、財政基盤の強化に取り組むことも重要であるとの認識のもと、次世代への責任ある選択の考えに基づき、持続可能な行政運営を目指し、市民サービスと行政運営の両面から、編成いたしました。

- 一般会計の予算額
770億9,000万円
(前年度比
48億6,000万円、6.7%増)
- 予算総額
(一般会計、特別会計、
公営企業会計)
1,233億9,651万円
(前年度比5.3%増)

